

## 「三つの『火』」に思いを込めて

～東京 2020 パラリンピック聖火 富田林市「採火式」に寄せて～

東京2020パラリンピックの聖火は、全国各地で採火されます。私たちの住む富田林市では、ここ喜志小学校において、参加を希望した喜志小学校児童及びその家族、52組によりこのあと採火します。

世界各国・地域から集まった選手たちの白熱した競技を、直接見たり、その場で声をかけたりすることはできませんが、今日採火する火が、大阪府で集められたのち、東京へ運ばれ、そして聖火となって、アスリートを応援することになると思うと、ワクワクしてきます。そういう意味で、今日の火は、「応援の『火』」です。

また、今日の採火は、古代の人間が使ったであろう火起こし器で種火を作った後に、わらに移して火を大きくします。このわらは、岩手県大槌町にお住いの菊池妙さんが、東日本大震災の際の津波によって流された水田から、奇跡的に芽を出し、実った3本の稲から粳種を取り、その一部を富田林市に譲ってくださったことがご縁で、以後「奇跡の復興米」として、喜志小学校でも、毎年5年生が地域のみなさんやJA大阪南、富田林市役所のみなさんに協力していただいて、

育て収穫しているのですが、今日は、その「奇跡の復興米」のわらで火を大きくします。そういう意味で、今日の火は、「復興と絆の『火』」です。

さらに今日は、終戦の日です。76年前の今日、誰も幸せにならない戦争を二度と起こさないとみんなで誓った日でもあると思います。私たちは、戦争を体験された方々から、直接話を聴ける最後の世代だと思います。少しでも話を聴かせてもらいたいです。そして、私たちがこの話を伝えていくことで、誰も幸せにならない戦争の愚かさを、平和の大切さを、現代を生きている人々やこれから生まれてくる人々と共有していきます。そういう意味で、今日の火は、「平和への誓いの『火』」です。

富田林市は、「応援の『火』」「復興と絆の『火』」「平和への誓いの『火』」、これら「三つの『火』」に思いを込め、聖火として贈ります。どうぞよろしく申し上げます。

東京2020パラリンピック 富田林市「採火式」参加者代表

喜志小学校 ○○ ○○ ○○ ○○ ○○ ○○